

凍結融解・塩害対策製品

「高浸透性無機質コンクリート改質剤」

Osmo (オズモ) ケイ酸ナトリウム系(リチウム配合)

NETIS 登録番号 HK-070015-V

ARIC 登録番号 (新技術候補登録) 315

(1-A コンクリート補修工法)ID10207

施工要領書



株式会社リナック八千代

「Osmo」標準施工要領

Osmo 塗布量：2倍希釈液で標準 200 ml/m²

| | |
|------|--|
| 製品荷姿 | 16ℓ (20kg入) 缶 (約160 m ² 施工可能) |
| | 4ℓ (5kg入) 缶 (約40 m ² 施工可能) |

【Osmo 施工手順】

- ① 「Osmo」材料及び副資材の確認
- ② 施工に当たっては、洗浄水がコンクリート表面で凍る場合の施工は避ける事（現場状況により凍る場合は、採暖養生を行い表面温度を上げ施工する）
- ③ 作業範囲にガラス、金属が露出している場合は「Osmo」が付着しないよう養生テープ等で養生する
- ④ 塗布工法の選定
 - ・ 低圧でのスプレー等の塗布（大面積施工及び飛散しても良い周辺の場合）
 - ・ 刷毛及びローラーによる塗布（小面積及びスプレー塗布では周辺に飛散し影響がある場合）
- ⑤ 「Osmo」原液をよく攪拌する
- ⑥ 原液と同量の水を合わせよく攪拌する・・・「Osmo」1ℓ：水1ℓ
（希釈用の水は不純物の含まれていないものを使用する事）
- ⑦ 洗 浄 : 簡易ブラッシングおよびスプレー散水により表面の汚れを除去する
※汚れがひどい場合は高圧洗浄（エンジン使用）を行う
※「Osmo」塗布前に、はく離剤の洗浄を高圧洗浄などで十分に行う 最大圧力 10MPa(102kgf/c m²) 程度
- ⑧ 一次塗布 : 標準量 **Osmo** 希釈液 100ml/m²を塗布する
- ⑨ 湿潤養生 : 早く乾燥する様子があれば散水により湿潤状態を保つ（30分～45分）
- ⑩ 二次塗布 : 一次塗布と同様、標準量 **Osmo** 希釈液 100ml/m²を塗布する
- ⑪ 湿潤養生 : この際も、早く乾燥する様子があれば散水により湿潤状態を保つ（30分～45分）

⑫洗浄・散水：「**Osmo**」施工面にスプレー散水と共に簡易ブラッシングをかけ、ふき取りまたは十分に洗浄し、最後に 100ml/m² 程度の散水を行う

※ 洗浄不足の場合、「**Osmo**」薬液が表面に残り白く固化することがあり、取れづらくなることがありますので洗浄はしっかり行ってください

※ 天井面や表面に凹凸がある部位は、水滴などができやすく「**Osmo**」薬液が表面に残り白く固化することがありますので注意してください

※ 水道水以外の水を洗浄水に使用しますと、含まれる成分に反応し、塗布面が白くなる場合がありますので、お止めください。

【**Osmo** 施工注意事項】

1. 「**Osmo**」が、ガラス、金属、駐車車両等に付着し乾燥固化すると取れなくなる恐れがありますので、周辺への飛散に注意し、事前養生はしっかりと行ってください。
2. 作業に当たっては作業員の防護メガネ、マスク、手袋の装着を厳守してください。
3. 製品は強アルカリですので中和処理をせず原液を直接排水に流すことは避けてください。
4. 「**Osmo**」を保管する際は直射日光を避け、5℃以上 40℃以下にて保管する事が望ましいです。
5. 一度凍結した「**Osmo**」は、溶かしても使用できませんのでご注意ください。
6. 「**Osmo**」塗布後の洗浄はしっかり行ってください。洗浄不足の場合、「**Osmo**」の薬液が表面に残り白く固化することがありますのでご注意ください。
7. 天井面や表面に凹凸がある部位は、洗浄後水滴などができやすいので注意してください。

※ 洗浄不足によって、「**Osmo**」施工後表面が白くなった場合は、

- ・ 汚れ落とし用のスポンジかペーパー・ブラシで軽くこする
- ・ ぬるま湯で浸しながらブラッシングやスポンジなどでこする
- ・ 高压洗浄等を行うなどを行い、取り除いてください。

尚、「**Osmo**」の効能については、影響ございません。

8. 「**Osmo**」塗布後の急激な気温変化により、コンクリート表面の温度変化が予測される場合は採暖養生をしっかりとして下さい。
9. 撥水剤を塗布されているところに「**Osmo**」を塗布するのはお止めください。

【コンクリート改質剤 **Osmo** 施工用道具】

- ・噴霧器 容量 5l～7l 程度の物を 1 個。（「**Osmo**」塗布用）
 容量 5l～7l 程度の物を 1 個。（浸透養生用）



手動蓄圧式噴霧器



電池式噴霧器

※施工の仕方を弊社ホームページに動画で用意しておりますので、ご参考になさってください。

株式会社リナック八千代

〒104-0045

東京都中央区築地2丁目7番12号

TEL 03-6228-4081 FAX 03-6228-4082

〒001-0031

札幌市北区北31条西3丁目2番11号

TEL011-768-8841 FAX011-768-8842

メールアドレス E-mail : mail@linack.jp